

日本語教師スキルアップ講座

中上級レベルの「聞く＋書く」 ノートテイキングへの道

日時 2020 ¹⁰/₁₆ (金) ～ ¹²/₄ (金) 17:30
▼
20:20

毎週金曜日 全8回

受講者募集中

公益財団法人ラボ国際交流センター
ラボ日本語教育研修所

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-26-11

TEL: 03-5908-3877 E-Mail: exchange@labo-global.co.jp

<http://www.labo-nihongo.com>



みなさまへ

1. 実践重視の講座です

日本語教育の知識だけでは実際の授業を効果的に進めることはできません。この講座では、理論だけでなく実際の授業を想定した中上級レベルでのより実践的なスキルを学びます。

2. 実際の授業が見学できます

ご希望があれば、受講期間中に当研修所で行われている実際の授業を見学することができます。教師の準備と授業中の動き、学習者の様子を間近で見ること、ご自身が教壇に立ったときのことをより鮮明にイメージできます。

3. 最新の日本語教育が学べます

当研修所は、最新の語学教育理論を取り入れた教育を行っています。今回は、「発音」と「聞く」を取り上げますが、今後「話す」「書く」「語彙」「文法」など、語学教育のすべてを学べるように講座を展開していきます。

講座の開講日程

- 講座回数： 全8回
- 開講時間： 毎週金曜日17：30－20：20(80分×2)
(2020年10月16日～12月4日)
- 内容： 中上級レベルの「聞く＋書く」ノートテイキングへの道
理論編（2回）

音声情報を記録する目的でノートテイキングを行なうという言語行動は非常に重要なものであり、大学・大学院、専門学校へ進学する学習者のみならず日本での就職を目指している学習者にとっても必要な技能である。さらに、ノートテイキングは、技能習得だけでなく言語習得の側面からも有効である。今回の講座では、ノートテイキングの授業が技能習得だけでなく、言語習得に有用であることの理論に触れる。

実践編（4回）

上級の学習者を対象に行なうノートテイキングの授業を頂点とし、それに至る初中級レベルから上級レベルにかけて、ノートテイキングのためにどのような技能が必要であり、そのためにはどのようなトレーニングが可能であるのかを考える。

応用編（2回）

「ノートテイキング」の応用的な授業として、さらにどのような授業が必要であるかを考える。また、実際にいくつかの授業を参加者自身が体験し、どのような効果があるのかを検討する。

講座の内容

	月/日	内容		
1	10/16	理論編	「聞く」＋「書く」	●中級の「聞く」＋「書く」とは ●EJU・JLPTの「聞く」との違い
2	10/23		Information Transferとは	●Information Transferとは ●Information Transferの種類 ●体験
3	10/30	実践編	初中級の「聞く＋書く」	●ディクテーション→メモへ ●授業案を考える
4	11/ 6		中級の「聞く＋書く」	●ノートの「型」を考える ●授業案を考える
5	11/13		上級の「聞く＋書く」	●「型」の利用を考える ●授業案を考える
6	11/20		「講義を聞く」	●ノートテイキングのゴールと応用 ●授業案を考える
7	11/27	応用編	模擬授業	
8	12/ 4		上級の授業の実際	●「ノートテイキング」展開授業 ●アクティブラーニング

受講料

受講料 33,000円（税込み）（学割：22,000円）

※大学生、大学院生の受講者は学生割引の対象となります

講師紹介

黒崎亜美



ラオ日本語教育研修所講師（桜美林大学大学院修了）

○講師からひと言：様々な機関、対象者、目的に対応するための汎用性のある“現場力”を学ぶ講座です。

現場に飛び出すための自信と勇気を身につけましょう。